

## 心理福祉学部心理福祉学科のカリキュラム

学科目群は基礎科目群、教養科目群、専門科目群からなっている。

卒業するためには表1のように単位を修得しなければならない。表1の単位数は卒業に必要な最低単位数である。

表1 心理福祉学科

学 科 目 群		卒 業 最 低 必 要 単 位 数					備 考
		必修	選択必修	選択	小計	自由選択	
キ リ ス ト 教 育 群	キリスト教基礎科目	4			12		* <sup>1</sup> 語学科目の履修方法は P.177～180参照
	キリスト教関連科目		4				
	キリスト教専門科目	4					
全 学 共 通 科 目 群	英語科目* <sup>1</sup>	4			4	24	* <sup>2</sup> 8単位以上選択必修
	第二外国語科目						
	デジタル・シティズンシップ科目						
	スポーツ科目						
	キャリア教育科目						
	日本社会・地域学科目						
	サービスラーニング科目						
	海外研修科目						
教 養 科 目 群	人間理解への基盤を学ぶ	6	8* <sup>2</sup>		8	24	* <sup>3</sup> 心理関連科目・福祉関連 科目のいずれかより20単位 以上選択必修
	社会理解への基盤を学ぶ						
	自然理解への基盤を学ぶ						
専 門 科 目 群	共通基礎科目	6		34	76		
	心理関連科目	6	20* <sup>3</sup>				
	福祉関連科目	6					
	公認心理師						
	社会福祉士						
	精神保健福祉士						
	応用科目						
演習科目	4						
合 計	34	32	34	100	24	124	

## 1. 用語の説明

- 卒業要件**＝卒業するために必要な条件
- 必修**＝当該科目の履修が卒業要件となっているもの。
- 選択必修**＝いくつかの授業科目の中から一定単位履修することが卒業要件となっているもの。
- 選択**＝卒業に必要な単位数として数えられるが、「必修」でも「選択必修」でもないもの。
- 開講期**＝春：春学期に開講される科目  
 秋：秋学期に開講される科目  
 通年：1年を通じて開講される科目  
 集中：特定の曜日／時限以外、あるいは上記の通常講義期間以外で行われる授業。  
 別途日程を調整したうえで実施する。
- 印：週1回授業  
 ◎印：週2回授業

**対象学年**＝科目を履修することができる年次が記されている。1年次生では2年次以上に配当されている科目の履修はできない。2年次生以上は原則として1年次生配当の科目を履修することができる。

**人数制限科目**＝履修希望者が集中した科目について、人数制限をする。

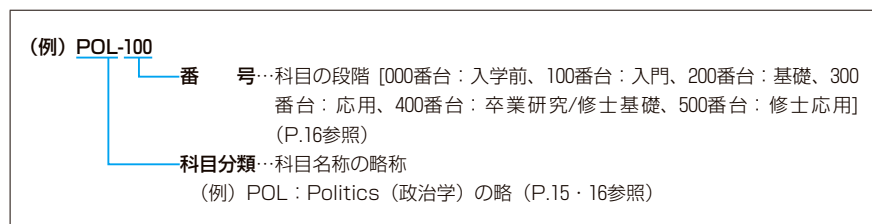
**ステップアップ**＝ローマ数字が記載されている科目は、ステップアップ科目と呼び、Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳの順に履修しなければならない。

## 2. 科目ナンバリング

本学では「**科目ナンバリング**」を導入している。

科目ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や履修順序、科目間の連携等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みのことで、学生が科目の水準や専門性に応じて、適切な授業科目を選択する際の助けとなる。

ナンバリングは「**科目分類（略称）**」、「**段階を表す番号**」の**組み合わせ**で表記される。



科目ナンバリングは、学生要覧カリキュラム表やシラバスに記載されている。

## 3. 各学期において履修できる単位数は、25単位を上限とする。

ただし、認定科目は上限単位制限に含まれない。

## 4. 自由選択科目について

卒業に必要な最低単位数124単位から、キリスト教科目群の最低単位数、全学共通科目群の最低単位数、教養科目群の最低単位数および専門科目群の最低単位数を除いた単位を自由選択科目と呼ぶ。これは、キリスト教科目群、全学共通科目群、教養科目群、専門科目群および他学部・他学科の専門科目群のいずれから履修してもよい。

## 5. 以下の科目に関してはクラスが指定されているので、確認の上履修すること。

キリスト教概論A・B、英語科目、心理学概論、心理学研究法